

平成26年度前期指導講師委嘱状交付式

平成26年4月2日、平成26年度前期指導講師委嘱状交付式が行われました。
第40期入所の教育研究員の皆さんの研究内容等の方向性を直接指導していただき、5名の指導講師の皆さんへ上原所長から委嘱状が交付されました。

指導講師

領域	指導講師	研究員名
幼稚園教育	村吉和美 (那覇市立古蔵幼稚園主幹)	金城睦子
小学校国語	宮城利恵子 (南城市立佐敷小学校教諭)	上原 馨
小学校国語	大城早智子 (前 島尻教育研究所運営委員長)	下地こず恵
小学校算数	井口憲治 (南城市立大里南小学校教頭)	仲門 学
中学校特別活動	比嘉良雄 (豊見城教育委員会参事)	横田純子



写真1 委嘱状交付

4月4日 第1回所長講話「大切なこと」は何ですか

本研究所では、教育研究員の「教育者としての専門性と確かな力量と総合的な人間性を高め、資質の向上を図る」ことを趣旨として、所内研修を実施しています。

「所長講話」は長期研修の6ヶ月間の間に10回計画しております。

【所長講話の概要】

- はじめに
「気づき、考え、実践する」
「プロの条件」(文：藤尾秀昭 書：武田双雲)より
- 1 「縁を生かす」(平成26年初任者研修のしおり 県教育委員会編集)
・「小さな人生論3」(至知出版社)
- 2 本県教育施策等について
(1) 本県教育の目標
(2) 教育施策の体系
(3) その他の施策、国の教育施策等の動向
- 3 「大切なこと」
・大村はま先生に学ぶ
- むすびに
・できない理由を探さない ・本を読む ・人を知る



写真2 所長講話

教育研究員の感想

「縁を生かす」という話は、研修で読んだことがありました。何回も読んだり聞いたりしているはずなのに、毎回、心をうたれると同時に、自分は子ども達の心に残るような担任だったかなと反省しています。クラスで乱暴な子がいると、乱暴な子という見方しかできなくなり、良い所がなかなかみつけられなくなってしまいます。いろいろな方向から子どもを見て、良い所を見つけて伸ばせられたらいいと思います。

教育施策の動向についても、今までは自分から進んで調べてはいなかったので、これからは関心を持って調べるようにしたいです。

私は、三年間波照間小学校に勤務していたので、竹富町の教科書問題については、教え子達にも関わることなので動向をみていきたいです。

最後に、所長が今日一番伝えたいことは「縁を生かす」とお話していたので、学校現場以外の人達との出会いを大切にして、研修をしていきます。
(下地こず恵)

